

1898年

この年8月、スミス先生が休暇帰国のために札幌を離れ、その留守中、学校の責任はG P ピアソン夫妻に委ねられた。札幌を離れるに先立ちスミス先生は、馬島さんから借り受けた借金の返済に充てるために集めた24円87銭を、ピアソン夫人に渡した。これを25円の金額にして、夏の間の校舎賃貸料50円と合わせて馬島さんに手渡した。この合計金額75円を、1989年12月10日に馬島医師（注 馬島博士）に返済した。学校として、元利合計150円の負債のうち75円を返済したことになる。元金75円に対する利息は、まだ支払われていない。

学校が始まる直前の9月14日、恐ろしい洪水が石狩川流域に氾濫し、生徒の中にも被害を受ける者が出た。また交通が途絶したために、学校が始まっても札幌に出ることの出来ない生徒が多かった。洪水による被害のために、子供を通学させられない家庭も多く出た。洪水がなければ、そうはならなかっただろう。

洪水の後の湿気の多い不健康な天候のために、風邪や発熱、喉の痛みが発生した。25名ほどの寄宿生と教師数名がこの間健康を損ね、出席面で大きな影響を受けた。

9月から採用することになった教師は次のとおり。

- 1 金子先生（漢文）
- 2 後任の菅井先生（英文解釈）
- 3 高橋先生（英文解釈、理科、10月25日京都から赴任）
- 4 武田先生（英作文、11月2日東京から根室経由で赴任）
- 5 高橋千代先生（国語、武田先生が病気になったので後任として）
- 6 山本先生（音楽、後に英語と国語）
- 7 飯田先生（図画）
- 8 大村先生（歴史）
- 9 西田先生（数学）
- 10 阿部先生（算数）
- 11 東野先生（裁縫）
- 12 吉井先生（作法、聖書）

1898年に入学した生徒の氏名

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 阿部 温 | 7 佐々木ツマ | 13. 江刺家 操 |
| 2. 堺 千代 | 8. 馬島 ツル | 14. 津島 サキ |
| 3. 高橋 千代 | 9. 小野寺カツ | 15. 興津 シゲ |
| 4. 興水 千里 | 10. 光 春 | 16. 松井 ハツ |